経　済　民　生　常　任　委　員　会　記　録

令和８年３月18日（水）午後１時37分～午後１時41分（第３委員会室）

○出席委員（８名）

委 員 長	斎藤　正臣
副委員長	山田　　裕
委　　員	遠藤　幸一
委　　員	佐藤　　勢
委　　員	尾形　　武
委　　員	小野　京子
委　　員	黒沢　　仁
委　　員	渡辺　敏彦

○欠席委員（なし）

○市長等部局出席者（なし）

○案　　件

所管事務調査「国際会議観光都市認定による効果・影響に関する調査」

１　調査のまとめ

２　その他

午後１時37分　　開　　議

（斎藤正臣委員長）ただいまから経済民生常任委員会を開会いたします。

議題は、お手元に配付のとおりです。

初めに、調査のまとめを議題といたします。

資料１をご覧ください。この間皆様からいただいた意見を提言の方向性ということで案をお示ししました。皆様からいろいろすばらしいご意見をいただきまして、このように手直しをしてみました。若干簡単に説明したいと思います。

まず、提言の方向性についてなのですけれども、朱書きの部分が修正箇所でございます。まずは、その前提として既存施設の洗い出しによるＭＩＣＥ会場の整理を追記いたしました。

下の矢印、①に関しては文言を若干修正した程度です。

②は、前回でいうところの２番と４番をまとめたのかな。誘致体制と営業活動という大きい枠を今皆様がご覧になっている②にまとめました。加えて、オール福島という言葉を何度か使っていますけれども、オール福島県、あるいはオール福島市、ここについてはしっかり使い分けたというところです。

③につきましては、ユニークベニューの手法として果樹なども追加いたしました。

以上が正副委員長案となります。これを骨子に委員長報告というものをまとめてまいりたいわけなのですけれども、皆様からこの方向性について改めてご意見をいただいて、それでよければ、これを基に委員長報告の制作に進みたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。皆様から何かご意見等ございますか。前回いただいたお話は全てちょっと盛り込むことはできなかったのですけれども、全て記録していますので、ここには入っていなかったですけれども、委員長報告に入るところも当然あると思いますし、これは大まかな柱であるというような、そういうふうな認識していただけるとよろしいのかなと思います。大丈夫ですか。もちろんやっぱり主は福島市でありますから、連携できるところでいえば県庁所在地、県の中でも唯一の観光都市として福島県も巻き込んで、予算も含めてなのですけれども、しっかりやっていきたいというようなことです。このような感じで作成を進めてよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）ありがとうございます。

最後に、その他に移ります。委員の皆様から何かありますでしょうか。特にないですか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）なければ、以上で経済民生常任委員会を終了いたします。

午後１時41分　　散　　会

経済民生常任委員長　　斎　藤　正　臣